

千年の森便り No.110

2012.11.23

ちば千年の森をつくる会

<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~toyofusajima/>

事務局長 伊藤道男

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

11月18日(日) 晴

参加は新井通子、伊藤、鶴沢、栗山、坂本文雄、高橋夫妻、根本、福島、真鍋、宍(ミ)、村野、山口の13名。豊英島の自然観察に続き、ホテイ岬の森林整備、クロムヨウラン関連作業、植物調査、野鳥調査など分担して実施、昼休みも巣箱づくりや森づくりの話で盛り上がりました。紅葉と野生のキノコやシイタケにも恵まれ、秋の豊英島を楽しみました。



豊英湖にも秋の気配が(福島)



森は秋色に(福島)



イロハモミジは紅葉し(福島)

○豊英島の自然観察

風はあるものの晴天で観察日和でした。栗山さんの案内で、紅葉の始まった豊英島を散策し、花ではリュウノウギク、アキバギク、コウヤボウキ、リンドウ、ツルグミなどが見られました。11月中旬なのにキノコがたくさん! クリタケ、アカモミタケ、ナメコ、ハナビラニカワタケ、カノシタ、ミネシメジ、アラゲキクラゲ、ムラサキシメジ、モエギタケ……。毒キノコは避けて食菌だけ集めたので安心して分けあい、お土産いっぱい持って、島を後にしました。(新井通子記)



コウヤボウキ(栗山)



リンドウ(栗山)



ミヤマシキミ(栗山)



ムラサキシメジ(栗山)



モエギタケ(宍)

○植菌シイタケ収穫

昨年2月に植菌、4月に本伏せたシイタケホダ場にシイタケが沢山出たので、昼食後皆で収穫しました。約7キロあり、山分けしてお土産にしました。10月21日のキノコ観察会時に既に鍋いっぱい出たので、10月中旬に出始めたこととなります。他のロットは12月後半です。同じ菌種、同じ植菌方法、伏せ方で発生時期が早いのは、日照や地面などの環境の違いでしょうか?(真鍋記)



○ホテイ岬の森林整備

なかなか手がつかなかったホテイ岬地区の森林整備に着手しました。枯損木を伐採し枯れたホテイ竹を整理したところ、だいぶすっきりした景観になりました。豊英島をダム流木竹の発生源としない意味でも必要な作業です。ホテイ岬地区は希少種やキノコ類の宝庫でもあるので、環境が激変しないように様子をみながら整備を進めていきたいと思います。（伊藤記）



○クロムヨウランとクロヤツシロラン

クロムヨウランと菌類の関係を調べるための準備を行いました。クロムヨウラン調査地、特に植生保護柵内にクロヤツシロランの株が多数見つかりました。花期を終え種子飛散済みの株と、種子飛散前の株です。アキザキヤツシロランと紛らわしい株もあるため、宍さんが研究室で調べます。又菌根菌の分離培養も始めたとのこと、成功を期待します。昨年11月、株が多数見つかった旧ホダ場付近の株跡には、今年の株はなく、近くに2株あるのみ。4年前智貴君が多数株見つけたホテイチク林とマダケ林を丹念に探しましたが見つかりません。（真鍋記）



クロヤツシロラン(宍)

○野鳥記録

吊り橋を渡り始めた時、湖面からオシドリの群れが左右に分かれて飛び立ちました。合計16羽でした。布袋岬の対岸を魚食性の鷹の一種、ミサゴが飛んでいました。この鷹は空中の一点でホバリングしながら水面の大きな魚に狙いをつけて急降下し、鋭い爪で捕まえると、脚で掴んだまま安全な場所まで運んで食べます。ミサゴは英語ではオスプレイですが、何かと話題の米軍新型輸送機も、ミサゴに似た飛行特性から付けられた名前だと思います。その他に冬の渡り鳥のシロハラを今季初確認、メジロ、シジュウカラなどの常連を加え14種でした。（坂本文雄記）

○センサーカメラの記録

テン、シカ、アライグマ、リス？オシドリ、ヤマガラの画像が記録されていました。リスは初記録ですが、残念ながら全身が写っていた訳ではなく、尻尾の部分だけでした。島内の杉の樹皮にリスが登り降りの際に爪で傷つけた様な形跡があったので、生息はしているだろうと思っていたのですが、これでほぼ確証が得られました。ヤマガラは樹洞に巣を作るのでカメラの雨よけケースを樹洞と勘違いして覗きにきたのかもかもしれません。（坂本文雄記）



センサーカメラが捉えたヤマガラ

11月9日 10:04

お知らせ

○12月定例活動日

12月2日(日) シカ個体数調査、小鳥巣箱製作・設置、紅葉狩り、次頁のご案内「豊英島でニホンジカの調査をしませんか」をご覧ください。会員以外の参加も募集しています。持ち物は弁当、飲み物、カメラ、軍手、虫よけ(巣箱製作参加者は金槌、鋸)など、また急斜面に適する履物と長袖、長ズボン、帽子。県民の森木のふるさと館駐車場9:30分集合。

○来春の栽培キノコ計画

来春、コナラにシイタケを、イヌシデにヒラタケを植菌します。いずれも伐採は2月17日、植菌は3月17日です。お楽しみに。

豊英島でニホンジカの調査をしませんか

ちば千年の森をつくる会

- 日 時 平成24年12月2日(日) 9時30分~15時
- 開催場所 君津市豊英ダム湖内の豊英島
- 集 合 清和県民の森「木のふるさと館」駐車場 9時30分
- 講 師 森林研究所主席研究員 福島成樹氏(当会会員)
- 内 容 当会が継続して実施しているニホンジカの一斉調査に参加し、豊英島の豊かな生態系とニホンジカとの密接な関係を学ぶ。
- 午後は希望により巣箱の製作と巣箱掛け、豊英島の紅葉狩を行う。
- 持ち物 弁当、飲み物、カメラ、軍手、虫よけなど
- 服 装 急斜面に適する履物と長袖、長ズボン、帽子
- 参加費 無料
- 定 員 定めませんが20名程度の受け入れ可能
- 申込み 不要
- 問合せ メール：ちば千年の森をつくる会 sennennomori@hotmail.co.jp
メールのない方は、事務局(伊藤 043-271-0282)まで



センサーカメラに写ったニホンジカ